



Title	閉会の挨拶
Author(s)	齋藤, 勝
Description	第一部: 第6回観光創造フォーラムの記録. 講演録
Relation	次世代まちおこしとツーリズム : 鷺宮町・幸手市に見る商店街振興の未来 = Community Development and Tourism for the Next Generation
Citation	CATS 叢書, 4, 60-61
Issue Date	2010-03-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/42922
Rights	© 2010 齋藤勝
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	departmental bulletin paper
File Information	CATS04_009.pdf



閉会の挨拶

齋藤勝（鷺宮町商工会会長）

長時間に渡り、ありがとうございました。最後に私の方から少し、私ども商工会のことについてお話をさせていただきたいと思います。

先程、商工会の活動は公益的な活動ということを申しあげましたけれども、本当に商工会の人件費をはじめ、殆どの経費が、県の予算で運営されております。それをよく考えますと、商工会の立場というのは、やはり商工会だからこそ出来ることをやらなければいけない。こういう考え方から、「らき☆すた」で人気が出た鷺宮神社だけでなく、それに固執することなく協力してくれる所があったら、ぜひそちらへも支援・連携を広げていくようにと、経営指導員にも、最初からはっきり申し上げております。

それから先程、局長が自己紹介されましたが、私も一言、局長の紹介をしなければなりません。吉岡局長は非常に実績のある行政マンでございます。最後は、鷺宮町の収入役で引退をされました。町の重鎮でございます。私も吉岡局長とは三十代からの長い付き合いです。鷺宮町商工会の事務局長の採用をしなければならなかった当時、吉岡収入役を採用しようかどうか私は非常に悩みました。というのも、ちょうど当時、静岡県のある温泉街で、観光協会の事務局長を全国で募集したというニュースがありました。全国に募集をかけ、五十才ぐらいの女性が採用されたそうです。私も、鷺宮町商工会の事務局長は全国に募集するぐらいの気合いでなければとも思いました。しかし、例え全国から募集しても、吉岡収入役ほどの人材はいないという自信を持って、当商工会の事務局長として採用することを決心致しました。未だにこの決定に反省はありません。いい人に入ってもらったと思います。

それから次に、坂田という非常に能力のある経営指導員がおります。彼は、インターネットで坂田庄巳と検索すると、関連記事が大量に出るほど、本当に認められています。今日は裏方に回っております。

また松本という経営指導員がおります。私が初めて日本経済新聞の記者から取材を受けたときに、私の横でサポートをしておりまして、「自分の目標は『ガイアの夜明け』に出ることだ」、と言う。日本経済新聞が後援しているんですね、『ガイアの夜明け』は（笑）。日経の記者に対して「『ガイアの夜明け』に出たい」と言うくらい、でかいこと言うやつで、本当によく働きます。今日あたりも、ちゃんと昼飯食ったかどうか、そういうことが心配です。私も常々本人に「メシ食う時間がないなんて言ってちゃダメだ。食わなければ頭の働きが悪くなるんだ」と言っておるのですが…。

それからもう一人、補助員として、この暴れ馬たちの会計を担当しております木下。彼女が全会計の責任者でございまして、今度のドラマの予算についても費用をしっかりと

と見ていかなければならない…。それからもう一人、古澤というのがおります。

商工会はこれだけのメンバーで、これだけの事業をやっているんです。私は、職員が「やりたい」ということに対して、ただ何でも「そうか、そうか」と言っているだけで済んでおります。鷺宮町商工会のことを説明させていただきました。

それから商店街で大型店と旧来の小売店、このバランスという問題を、私は本当に、非常に重く受け止めております。でも、小さい商店でも若い経営者が熱心にやっているところは、今、十分やっています。たぶん駄目な商店は、財産があって貸家を持ったり、農作業と掛け持ちしたりして、商売に本腰が入っていない。本腰が入って、島田菓子舗さんにしろ、ヘアサロンワタナベさんにしろ、若い人——後継者——がいて、商売に真剣に取り組んでいる所は、今、非常に良い時代だと思っております。逆に言えば、大型店同士が食い合って、大型店が撤退した後の商店街が一番怖い。そういう風に今は感じています。

昨日は痛車祭りというのをやりました。私は、その後の情報を知らないのですが、松本がネットで見たら、何やら会長がまた来年もやると言っていたと書いてあると。言ってしまったのかなと（笑）。松本は松本で、痛ダンスをやるなんて言ったようです。

結局この5人しかいないメンバーで、あまり大きな事業を引き受けてしまうと、つじつまが合わないおそれがありますが…今年はずいぶん、北川監督の下、鷺宮ドラマこれに集中していきたいと思っています。今日は貴重なご意見をたくさん頂きました。どうもありがとうございました。